OptoSigma®

Light Solutions for Life®

©A. Maestas, LANL

第42期　中間報告書

2016年6月1日 ▶ 2016年11月30日

Contents

株主の皆様へ
第2四半期の業績（連結）
第2四半期のセグメント別概況
2017年5月期業績見通し（連結）
トピックス – こんなところにシグマ光機
株主様アンケート結果のご報告・CSR活動
連結財務諸表
株式の状況／会社概要

シグマ光機株式会社

証券コード：7713

株主の皆様へ

経営理念　**我社は光産業を通じ、社会に貢献します。**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

Light Solutions for Life®
光なら、きっとできる。

当上半期業績につきましては、売上高は前年同期比4.3％増の37億6千7百万円、経常利益は前年同期比23.5％増の4億9千6百万円となり、売上高、利益の全項目において前年同期を上回りました。

スマートフォンの製造サイクルと連動した国内及びアジア地域の産業分野の設備投資意欲が堅調に推移し、高付加価値レンズユニットや当社の中核技術を複合・融合した光学部品・光学システム製品等の需要が拡大いたしました。また、米国地域のバイオ・医療業界や欧州地域の研究開発分野で安定した需要がございました。

当社グループは、「光ソリューション・カンパニー」として、「感謝」「挑戦」「創出」の想いを胸に、「光」の可能性を形にする 「ものづくり」を通じて、これからも皆様の暮らしを「光」で支えてまいります。

持続的な成長と企業価値の向上、そして創立40周年を迎えた今年度は、記念配当を含む着実な株主還元によって、皆様のご期待にお応えしてまいりたいと考えております。

株主の皆様には、今後とも何卒ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

シグマ光機株式会社
代表取締役社長　近藤 洋介

第2四半期の業績（連結）

産業分野向けのリピート製品が堅調に推移。生産の効率化や先送りも含む全社的な経費圧縮等で利益が拡大。

売上高 37億6千7百万円
（前年同期比 4.3％増）

経常利益 4億9千6百万円
（前年同期比 23.5％増）

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 3億2千7百万円
（前年同期比 20.3％増）

第2四半期のセグメント別概況

要素部品事業

売上高 ↑ **3.1 %増**

（前年同期比 94百万円増）

ポイント　スマートフォン関連分野で需要拡大

スマートフォン関連の半導体・電子部品業界やＦＰＤ業界向けレーザ加工機・検査装置組込み用自動位置決め製品及び光学素子製品の需要が堅調に推移いたしました。米国地域はバイオ・医療業界や光計測業界向け組込み用光学基本機器製品及び光学素子製品、欧州地域では光学素子製品の需要が安定的に推移いたしました。

システム製品事業

売上高 ↑ **11.7 %増**

（前年同期比 62百万円増）

ポイント　組込み用途のレンズユニットが堅調

産業分野における研究開発投資・設備投資に回復の動きが見られ、スマートフォン関連業界向けの組込み用レンズユニット製品等の需要が堅調に推移いたしました。バイオ業界向けは、レンズユニットの他、観察鏡筒、顕微鏡システム等の光学測定・分析装置製品や観察光学系システム製品が堅調に推移いたしました。

2017年5月期業績見通し（連結）

産業分野の設備投資は引き続き回復基調で推移すると予想されますが、世界経済の先行きが不透明であることを受けて、通期の売上高・各利益は期初予想に対して微増と予想しています。そのような中ではありますが、創立40周年を迎える今年度は、株主様への感謝の気持ちを込めて、記念配当を含む通期配当34円の積極的な株主還元により、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当額（※通期累計額）
7,650百万円	780百万円	860百万円	565百万円	34円（記念配当4円を含む）
（前期比2.5%増）	（前期比1.3%減）	（前期比1.7%減）	（前期比5.4%減）	（配当性向45.3%予想）

トピックス – こんなところにシグマ光機

普段目には見えなくても、シグマ光機の「光」は皆様と一緒に暮らしています。

●宇宙・天文関連

真空用ミラーホルダー

超広帯域ミラー

●スマートフォン等 各種産業分野

自動光学検査システム

レーザ加工システム

各種対物レンズ

●バイオ・医療関連

各種顕微鏡用自動ステージ

・光ピンセットMini
・IR-LEGO

●通信関連

光ファイバー調芯システム

たとえば・・
宇宙環境でも高安定・高耐久で計測・分析したい。
微細・無色透明な細胞でも観察・操作がしたい。
極小・特殊な形状のモノでも品質検査がしたい。
微細加工や精密加工、低侵襲レーザ治療　など。

シグマ光機は、お客様の欲しいを形にすることで、皆様のより良い暮らしに貢献しています。

技術開発トピックス – 再生医療研究分野

共焦点顕微鏡用対物レンズ（左）、位相差顕微鏡用対物レンズ（右）

シグマ光機は、長年に亘る公的機関・研究所等との取引実績に裏付けられた最先端の光学系への対応力を背景に、細胞加工施設（CPF）、フローサイトメーター、各種顕微鏡関連の光学ユニット等、需要が高い再生医療研究分野向けの製品の開発に取り組んでいます。
最近では、溶液内の無色透明な細胞を観察できる位相差顕微鏡用対物レンズや、高解像度の3D立体観測が可能な共焦点顕微鏡用対物レンズを開発いたしました。

株主様アンケート結果のご報告

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

第41期報告書で実施させていただきましたアンケートにつきまして、アンケート対象の全株主様3,936名（2016年5月31日時点）の約2%に相当する86名の株主様からのご回答をいただきました。お寄せいただきましたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

株主様からのご意見

Q 決算に一喜一憂することなく高技術企業として成長してほしい。

A 今上期は、研究開発費を若干抑制いたしましたが、将来的な成長戦略に基づく開発計画の精査による実行時期の見直しであり、今下期での実行を見込んでおります。いかなる経営環境でも成長戦略を遂行すべく、当社グループの販売力の強化、生産効率化等を図ると共に、最先端研究機関等、外部との連携・協力の強化や、当社中核技術の融合・複合等、ものづくり企業として、技術力向上に強力に取り組んでまいります。

Q 女性活躍推進に関する行動計画に期待している。

A 当社では働く女性の更なる活躍に向けて、女性社員の採用・育成、社内制度の整備等に積極的に取り組んでおります。11月には当社の女性中堅社員による組織横断型のグループミーティングを開催し、その様子を当ページ下段の「CSR活動」に記載させていただきました。
当社の「女性活躍推進に関する行動計画」につきましても、当社ホームページに掲載しておりますので、ご高覧いただけましたら幸甚に存じます。

株主様からのご意見・ご要望のご紹介

- 7ページのトピックス、女性活躍推進に関する記事は大変うれしい内容でした。目を引いたのが、女性のイラストです。固い内容が多い株主通信ですが、明るい色が入りちょっと目をひいて、いいなと思いました。
- 業績向上に努めて増配という形で株主還元してほしいです。
- 技術のページは、実際どういう使われ方をしているのかが、わかりやすかった。
- 国内トップブランドである貴社の実力が広く世間に周知されるよう、さらにご尽力願います。

CSR活動

次世代育成（産学連携・地域連携）

先端レーザー科学教育研究コンソーシアム

「先端レーザー科学教育研究コンソーシアム(CORAL)」は、東京大学を始めとする大学院生を対象に、光学分野で世界をリードする先端企業各社が実験・実習の指導を行う大学院教育プログラムです。当社もその1社として、発足当初から毎年プログラムに参加しており、次世代の光科学分野を支える人材の育成に貢献しています。

光の寺子屋

当社では、10年以上に亘って、地域の小学生の子どもたちに出張理科教室「光の寺子屋」を行ってきました。 今期も、墨田区内の小学校3校での『虹』をテーマとした光学実験を通じて、科学の面白さや驚きを体験してもらい、「科学する楽しさ」を伝えました。

従業員への取り組み

女性社員の活躍推進

経営トップのコミットメントの下、各拠点・部門の女性中堅社員が集まり、組織横断型のグループミーティングを開催いたしました。普段は顔を合わす機会のない女性社員間のネットワーク構築と共に、女性活躍推進への今後の取り組みについて、経営トップと意見交換を行いました。

連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期 2016年11月30日現在	前　期 2016年5月31日現在
（資産の部）		
流動資産	7,987	8,007
固定資産	6,232	6,339
有形固定資産	2,714	2,837
無形固定資産	165	173
投資その他の資産	3,353	3,328
資産合計	14,220	14,347
（負債の部）		
流動負債	1,496	1,772
固定負債	1,020	901
負債合計	2,517	2,673
（純資産の部）		
株主資本	11,640	11,426
その他の包括利益累計額	19	199
非支配株主持分	43	47
純資産合計	11,703	11,673
負債・純資産合計	14,220	14,347

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期 2016年 6月 1日から 2016年11月30日まで	前第2四半期 2015年 6月 1日から 2015年11月30日まで
売上高	3,767	3,611
売上原価	2,281	2,168
売上総利益	1,485	1,443
販売費及び一般管理費	1,042	1,102
営業利益	443	341
経常利益	496	402
親会社株主に帰属する四半期純利益	327	272

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	当第2四半期 2016年 6月 1日から 2016年11月30日まで	前第2四半期 2015年 6月 1日から 2015年11月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	106	438
投資活動による キャッシュ・フロー	△384	△347
財務活動による キャッシュ・フロー	21	△158
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△119	△9
現金及び現金同等物の 増減額	△375	△76
現金及び現金同等物の 期首残高	2,650	2,616
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,275	2,539

解説ポイント

●連結貸借対照表

＜資産の変動＞
流動資産は、有価証券が2億6千1百万円、受取手形及び売掛金が1億1千6百万円それぞれ増加し、現金及び預金が3億3千7百万円減少したこと等により前期末比0.3％減少いたしました。固定資産は、投資有価証券が6千3百万円増加し、機械装置及び運搬具が7千万円、建物及び構築物が3千5百万円、投資不動産が2千1百万円それぞれ減少したこと等により前期末比1.7％減少いたしました。
この結果、総資産は、前期末比で0.9％減少いたしました。
＜負債の変動＞
流動負債は、短期借入金が2千3百万円増加し、支払手形及び買掛金が1億8千4百万円減少したこと等により前期末比15.6％減少いたしました。
固定負債は、長期借入金が1億1千1百万円増加したこと等により前期末比13.2％増加いたしました。
その結果、負債合計は、前期末比で5.9％減少いたしました。
＜純資産の変動＞
純資産は、前期末比で0.3％増加し、自己資本比率は82.0％となりました。

●連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期の現金及び現金同等物の四半期末残高は22億7千5百万円となり、前期末比3億7千5百万円の減少となりました。
営業CFは、主に税金等調整前四半期純利益が増加し、売上債権の増額、仕入債務の減額、法人税の支払い等により減少いたしました。
投資CFは、有価証券の短期資金運用による支出で減少いたしました。
財務CFは、主に長期借入による収入で増加し、長期借入金の返済による支出、配当金の支払いにより減少いたしました。

詳細の情報はこちらもご覧ください。http://www.sigma-koki.com/pages/ir/index_jp.php

株式の状況／会社概要

株式の状況（2016年11月30日現在）

①発行可能株式総数　32,000,000株

②発行済株式の総数　7,811,728株

③株主数　3,791名（前期末比145名減）

④主要株主

株　主　名	所有株数（千株）	持株比率（%）
浜松ホトニクス株式会社	1,000	13.28
森　昷二	722	9.59
シグマ光機取引先持株会	438	5.82
シグマ光機従業員持株会	254	3.38
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.70
富国生命保険相互会社	200	2.66
株式会社サンライズクリエート	164	2.19
杉山大樹	131	1.74
株式会社三井住友銀行	110	1.46
三井住友信託銀行株式会社	100	1.33

（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。
3. 持株比率は、自己株式（279,372株）を控除して計算しております。

所有株数別株式分布状況

所有者別株式分布状況

（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を四捨五入して表示しております。
3. 自己名義株式（279,372株）を含んでおります。

会社概要（2016年11月30日現在）

社　名	シグマ光機株式会社
本　社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
設　立	1977年（昭和52年）4月
資本金	26億2,334万円
従業員数	331名
役　員	代表取締役会長　森　昷二 代表取締役社長　近藤洋介 取締役　菊池健夫 取締役　中村良二 取締役　大野昭夫 取締役　小林祐二 常勤監査役　山口秀一 監査役　大野隆久 監査役　野﨑昭司

（注）1. 大野昭夫氏及び小林祐二氏の2氏は社外取締役であります。
2. 社外取締役 大野昭夫氏は、独立役員であります。
3. 大野隆久氏及び野﨑昭司氏の2氏は社外監査役であります。

主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- 上海西格瑪光机有限公司
- タックコート株式会社

当社の中間報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン（UD）書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会　毎年5月31日 期末配当金　毎年5月31日 中間配当を行う場合は、毎年11月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
電子公告URL	http://www.sigma-koki.com/

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

（電話照会先）フリーダイヤル 0120-782-031（通話料無料）
（インターネット ホームページURL）
http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご留意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

（特別口座　口座管理機関）	みずほ信託銀行株式会社
（郵便物送付先）	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-288-324（通話料無料）

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 7713
いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信　kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます　QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com

シグマ光機株式会社
東京本社　東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221（総務部）

UD FONT　ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080　VEGETABLE OIL INK